

—セネガル日本語教育事情—

須藤美千代

経営・企業・組織高等研究所（CESAG）

1 セネガルの基本情報

- ▶面積 196,000 km² （日本の約 1/2）
- ▶人口：1812 万 Population: 18,120,000
- ▶言語：フランス語（公用語）
部族語（ウォロフ, プル, セレール等）
- ▶在留邦人数 Japanese：200 人（2025 年在セネガル日本大使館）
- ▶日本企業数 Japanese companies: 20 社（2025 年在セネガル日本大使館）



2. 日本語教育の実施状況

以下、国際交流基金による、国別日本語教育状況（2023 年度）を引用させていただき、アップデート情報を加筆させていただいた。

セネガルにおける日本語教育は、1980 年代に日本大使館スタッフが試み、外部会場において実施していた講座を、JICA 海外協力隊員が引き継ぐ形で進展した。1998 年に経営・企業・組織高等研究所（CESAG）言語科（日本語以外にもさまざまな外国語を教育している）に選択科目として日本語講座が発足し、JICA 海外協力隊員 1 名 が派遣される形で、2000 年より実際の教育が開始された。CESAG は西アフリカ中央銀行出資による広域的な経営学専門家育成機関（ビジネススクール）で、セネガルのみならず西アフリカ諸国の幹部候補生が、経営学や会計学、外国語等を学んでいる。2015 年 9 月からは 8 代目の JICA 海外協力隊員が着任して活動にあたっていたが、2017 年 7 月に離任し、それ以降日本人の JICA 海外協力隊の教師は着任していないが、2023 年 11 月より、ダカール在住の日本人講師及び元国費留学生により、約 80 名を対象として 10 カ月の日本語の特別

講座を行なわれた。また、2008 年 2 月には高等経営学院（ISM）にアフリカ・アジアセンターが開設され、セネガル人元国費留学生（環境地理学）が初代センター長に就任した（現在は退任）。同センター長は日本語教師ではないものの、日本 1 国際交流基金 日本語教育 国・知識別情報 において習得した日本語能力を活かして 2008 年 3 月から日本語入門講座を開設した。同センターには、2009 年 12 月より断続的に JICA 海外協力隊員・シニア海外ボランティアが計 3 名（短期）派遣された。2014 年 2 月に JICA 海外協力隊員（長期）が着任し、同学院の生徒に対し日本語を教えていたが、2018 年に離任。その後、エジプト国籍の外国人が初心者向けの日本語コースを 2019 年から担当していたが現在は不在となっている。2006 年から試験的に日本語講座が開設された CESAG 同様のビジネススクールであるアフリカ経営学センター（IAM）においては、教師の不在等の事情から休講（事実上廃止）となっている。ただ、日本語クラブは、有志で活動しているらしい。他には、私立の語学学校として INTERLANGUAGE が存在し、2017 年から初学者向けの日本語のクラスを開講していたが、現在も開講しているとの情報はない。

3. JLPT 試験の実施

CESAG にて、2024 年 12 月に初めて（かなり以前にも実施されていたようだが、在セネガル日本大使館には記録が残っていない）JLPT 試験が実施された。受験者は N5 レベル 1 名（大使館勤務者）、N4 レベル 70 名であった。N4 受験者は、上記の約 80 名を対象とした 10 カ月間の日本語特別講座を最後まで受講した生徒たちである。全くの日本語初級者であった 70 名の受験者のうち、30 名が合格、合格率 42%であった。特に、A クラスにおいては、29 名受験で、21 名合格、72%の合格率、さらに満点が 1 名を出すことができた。これは実にすばらしい成果であると思う。

以下、各クラスごとの合格率

**Résumé des résultats du JLPT pour les candidats du Satomi
Project**

Date de la certification : 01 décembre 2024

Test Site : CESAG

Nombre de candidats du Satomi Project inscrits	Nombre de candidats du Satomi Project ayant passé les épreuves	Nombre d'absents
71	70	01
Nombre d'étudiants en Classe A ayant passé les épreuves	Nombre d'étudiants ayant réussi la certification	Pourcentage de réussite
29	21	72%
Nombre d'étudiants en Classe B ayant passé les épreuves	Nombre d'étudiants ayant réussi la certification	Pourcentage de réussite
17	04	23%
Nombre d'étudiants en Classe B ayant passé les épreuves	Nombre d'étudiants ayant réussi la certification	Pourcentage de réussite
25	05	20%
Taux de réussite	42%	

4. 学習動機と今後の課題

日本語学習の動機の大多数は、他国と同様にマンガやアニメに触発されたものである。セネガルにおいても、それらに関連するイベントが開催される際には、多くの参加者が集まる。一方で、前述の特別日本語クラスは、日本での就労を目指す特定技能生にとって最初の条件である N4 合格を目的として開講された。応募者の中にはマンガ等を通じて日本語に触れた経験を持つ者もいたが、大多数は日本語に初めて接する初心者であった。次の段階として技能試験の受験が求められるが、これはセネガルでは実施されていない。そのため、N4 に合格した 30 名のうち 9 名は、現在日本で技能試験対策の授業を受講している。

今後は、このように日本での就労を目指す人々の支援が一層重要となる。また、日本留学を希望する学生を対象とした「来日前日本語教育」も必要とされており、これらの取り組みがセネガルにおける日本語教育の発展に寄与していくことが期待される。

以上